

# 島根県の経済動向

平成23年3月分

統 第 1 0 6 号 の 2  
平成23年 5月30日

政策企画局統計調査課

— 本県経済は、やや弱い動きとなっている。 —

東日本大震災の影響により、生産活動は弱含んでおり、個人消費も弱い動きとなっている。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	➡	～弱含んでいる～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は93.2となり、前年同月比は▲3.2%と17か月振りに前年を下回った。大口電力需要実績は2.9%と16か月連続で前年を上回った。東日本大震災の影響により総じて停滞感がみられ、特に輸送機械工業の生産指数が著しく低下するなど、生産活動は、弱含んでいる。
雇用情勢	➡	～持ち直しの動きが足踏み～	有効求人倍率は0.84倍と2か月連続で上昇し、新規求人数も18.1%と8か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は3か月連続で前年を下回り、きまって支給する給与も3か月連続で前年を下回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きが足踏みしている。
個人消費	➡	～弱い動き～	大型小売店販売額は▲9.8%と2か月振りに、家電量販店販売額も▲4.3%と2か月振りにそれぞれ前年を下回った。乗用車新車登録台数は生産ラインの停滞による供給不足などにより▲31.5%と前年を大きく下回った。東日本大震災による消費自粛ムードの影響もあり、個人消費は、弱い動きとなっている。
投資動向	➡	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は218.0%と10か月連続で前年を上回った。公共工事請負金額は0.1%と前年をわずかに上回り、また、新設住宅着工戸数は153.2%と2か月連続で前年を上回った。投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	➡	～倒産件数7件～	企業倒産件数は7件。うち建設業は1件、製造業は0件。
金融情勢	➡	～貸出金残高は対前年0.9%増～	銀行預金残高は33か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は7か月連続で前年を上回った。
物 価	➡	～対前年0.5%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は99.9となり、対前年同月比▲0.5%と25か月連続の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成23年5月30日公表）		CI先行指数は92.8となり、4か月連続の上昇となった。 CI一致指数は107.3となり、4か月振りの下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成23年3月16日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（23年1～3月期）は▲18.1%ポイントと「下降」超に転じている。 〔先行きについては、翌期（4～6月期）に「上昇」超に転じ、翌々期（7～9月期）も「上昇」超で推移する見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	91.6	90.7	94.5	99.2	97.9	93.2
	〃（原指数）	9.1	10.8	14.8	6.4	3.1	▲3.2
	大口電力需要実績	10.9	7.2	10.1	8.7	6.5	2.9
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.78	0.79	0.80	0.78	0.79	0.84
	新規求人数	0.1	12.7	15.4	3.8	15.9	18.1
	常用労働者数	0.6	0.3	▲0.1	▲0.1	0.1	0.4
	現金給与総額	4.6	7.4	12.0	▲1.6	▲0.7	▲1.7
	きまって支給する給与	4.4	3.8	4.0	▲0.4	▲0.6	▲0.7
	所定外労働時間（製造業）	20.3	10.2	▲5.2	▲4.4	▲10.0	▲3.3
個人消費	大型小売店販売額	▲0.9	0.7	▲2.6	▲3.5	0.8	▲9.8
	ホームセンター販売額	▲0.3	▲1.0	1.2	2.3	6.5	7.2
	家電量販店販売額	33.8	84.0	▲15.0	▲16.9	0.2	▲4.3
	乗用車新車登録台数	▲30.2	▲31.1	▲21.9	▲15.9	▲18.3	▲31.5
	出雲空港利用者数	▲1.9	2.0	▲3.0	▲1.2	▲2.9	▲24.7
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	43.0	119.0	23.8	13.2	50.5	218.0
	公共工事請負金額	▲2.7	▲28.5	▲7.8	▲11.1	▲9.3	0.1
	新設住宅着工戸数	56.1	▲54.8	4.7	▲34.7	37.6	153.2
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	3	1	1	2	7
	* 負債総額（百万円）	321	760	310	40	110	943
金融情勢	銀行預金残高	2.9	1.6	1.7	2.2	2.4	2.3
	銀行貸出金残高	0.4	0.4	0.8	1.0	1.2	0.9
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.4	100.2	99.5	99.2	99.3	99.9
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	79.0	73.4	79.2	84.5	89.4	92.8
	* 景気動向指数（CI一致指数）	114.5	108.3	114.6	116.7	125.3	107.3

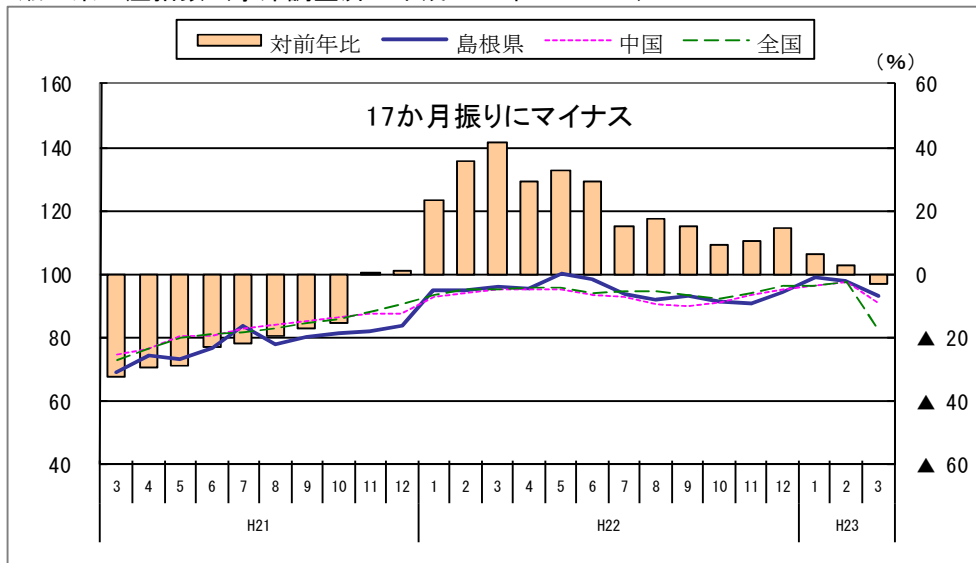
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」平成23年5月24日</p> <p>景気は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きとなっている。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、東日本大震災の影響により、このところ生産活動が低下している。輸出は、東日本大震災の影響により、このところ減少している。</li> <li>・ 企業収益は、東日本大震災の影響により、下押しされている。設備投資は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きがみられる。</li> <li>・ 企業の業況判断は、慎重さがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。ただし、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられる。</li> <li>・ 個人消費は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きがみられる。</li> <li>・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、当面は東日本大震災の影響から弱い動きが続くと見込まれる。その後、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されるが、電力供給の制約やサプライチェーン立て直しの遅れ、原子力災害及び原油価格上昇の影響等により、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>											
	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成23年5月24日</p> <p>中国地域の経済は、東日本大震災の影響により生産が低下するなど弱含み。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…低下</td> <td>2. 景況感…弱い動き</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…横ばい傾向</td> <td>4. 物価…上昇傾向</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、緩やかながら持ち直しの動き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…持ち直しの兆し</td> <td>7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加</td> </tr> <tr> <td>8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 企業倒産…件数は減少</td> <td>10. 貿易…輸出は減少</td> </tr> </table>	1. 生産動向…低下	2. 景況感…弱い動き	3. 産業用電力需要…横ばい傾向	4. 物価…上昇傾向	5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、緩やかながら持ち直しの動き		6. 設備投資…持ち直しの兆し	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加	8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き		9. 企業倒産…件数は減少
1. 生産動向…低下	2. 景況感…弱い動き											
3. 産業用電力需要…横ばい傾向	4. 物価…上昇傾向											
5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、緩やかながら持ち直しの動き												
6. 設備投資…持ち直しの兆し	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加											
8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き												
9. 企業倒産…件数は減少	10. 貿易…輸出は減少											
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2011年4月28日</p> <p>山陰両県の景気は、足踏み状態にある。すなわち、生産は、水準が幾分低下している。個人消費は、弱含みで推移している。公共投資も減少している。一方、設備投資は持ち直しつつある。また、住宅投資は下げ止まっている。この間、雇用・所得情勢は、厳しさが幾分和らいできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、水準が幾分低下している。</li> <li>・ 個人消費は、弱含みで推移している。</li> <li>・ 設備投資は、持ち直しつつある。</li> <li>・ 公共投資は、減少している。</li> <li>・ 住宅投資は、下げ止まっている。</li> <li>・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にあるが、その厳しさは幾分和らいできている。</li> </ul>											
	<p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2011年5月26日</p> <p>雇用情勢は緩やかに持ち直し、住宅建設は上向きつつある。一方、生産は弱含んでおり、個人消費は低調な推移となっている。東日本大震災の影響により弱含み横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、低迷が続いている。</li> <li>・ 設備投資は、全産業で前年度を下回る計画（企業動向調査3月）。</li> <li>・ 住宅建設は、水準は低いながらも、上向きつつある。但し、先行きについては東日本大震災の影響が懸念される。</li> <li>・ 個人消費は、総じて低調な推移となっている。</li> <li>・ 生産は、輸送機械など一部で東日本大震災の影響がみられ、弱含んでいる。</li> <li>・ 雇用情勢は、持ち直し傾向にある。但し、先行きについては東日本大震災の影響等も懸念される。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元（10年度下期）、製造業ではほぼ横ばい、非製造業では改善しており、全産業でも改善（▲14.9→▲3.9）。先行き（11年度上期）については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業でも悪化（▲3.9→▲15.3）の見通し（企業動向調査3月）。</li> </ul>											
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成23年1月26日（四半期ごとに公表）</p> <p>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。雇用情勢で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている。一方、個人消費で一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いているほか、生産活動で一部に操業度引き下げの動きがみられるが、おおむね横ばいとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</li> <li>・ 生産活動 一部に操業度引き下げの動きがみられるが、おおむね横ばいとなっている</li> <li>・ 雇用情勢 緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回っている</li> <li>・ 設備投資 22年度は増加見込み</li> <li>・ 企業収益 22年度は増益見込み</li> </ul>											

# 経済指標の推移

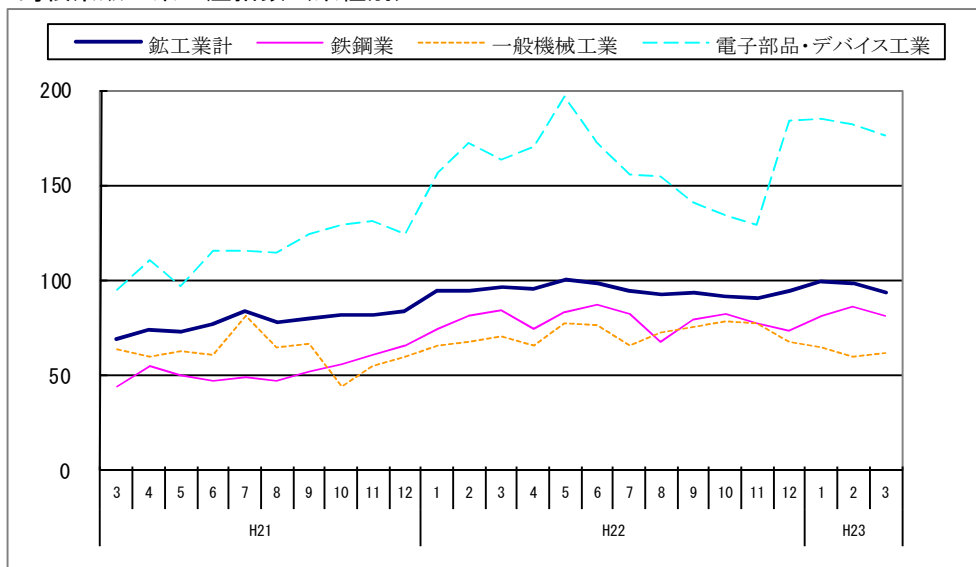
## 【 生産活動 】 ～弱含んでいる～

鋳工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



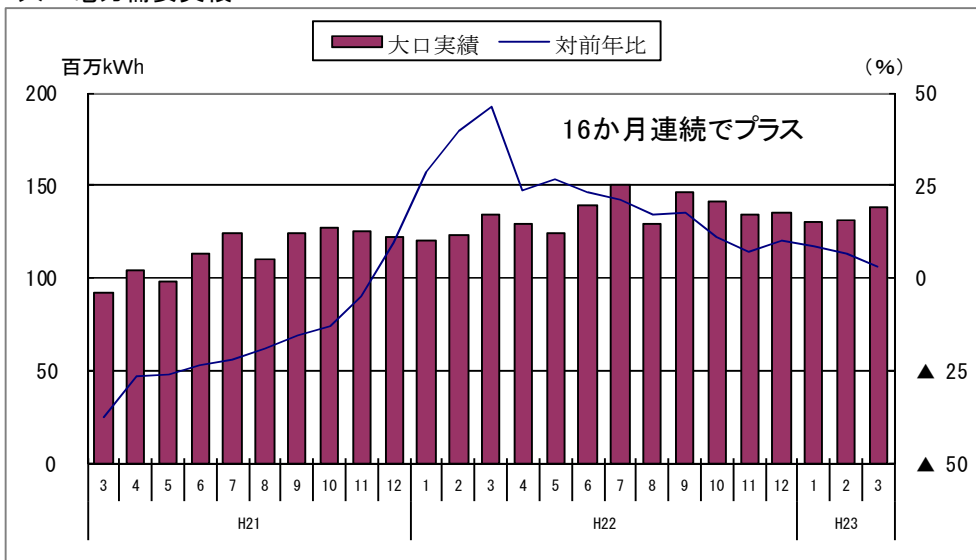
（注）対前年比は、島根県の実指数（県統計調査課、経済産業省）

島根県鋳工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

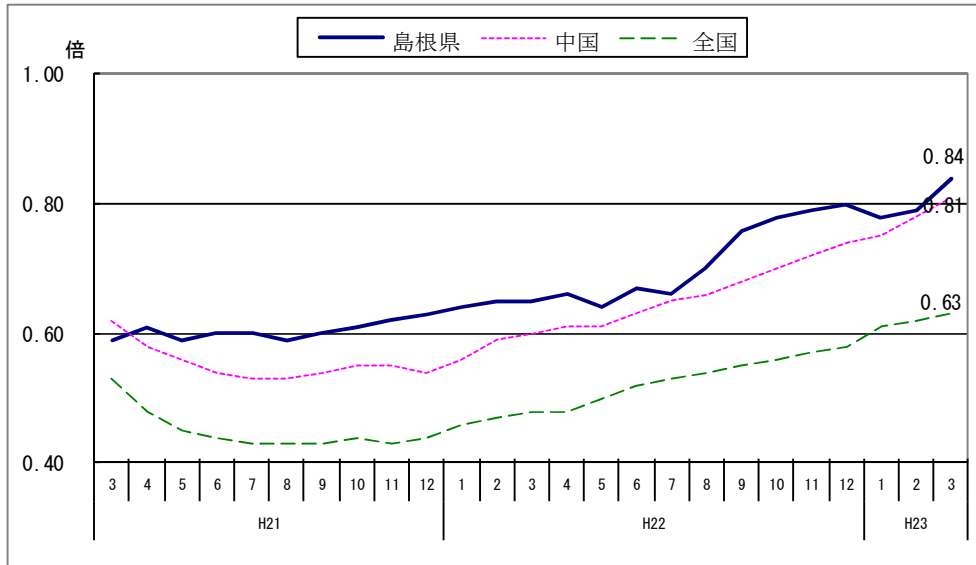
大口電力需要実績



（中国電力株）

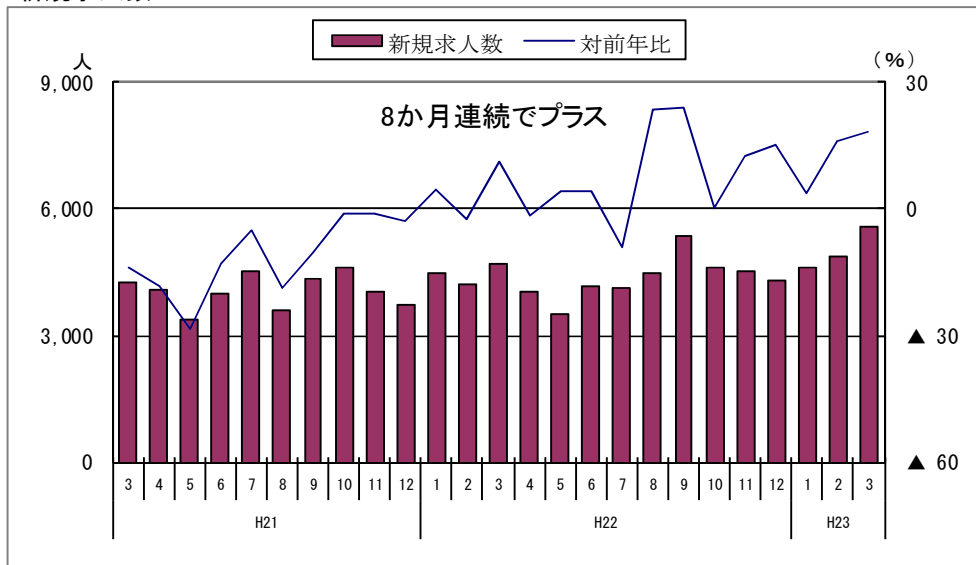
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



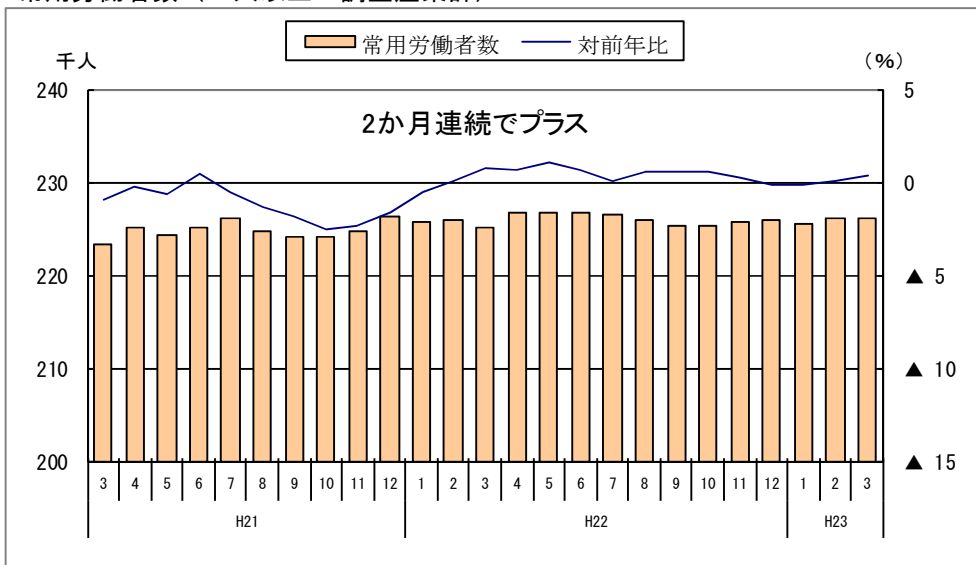
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

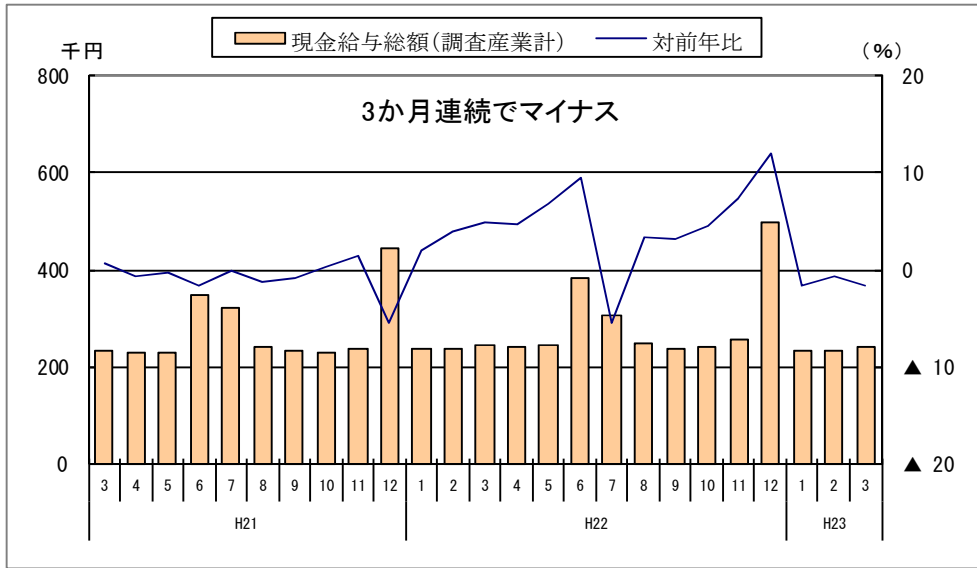
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

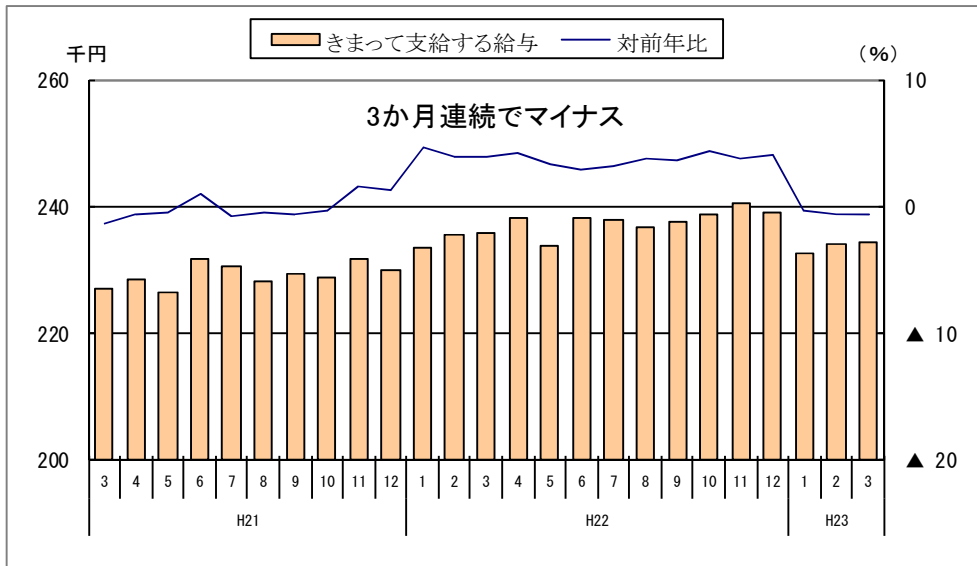
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



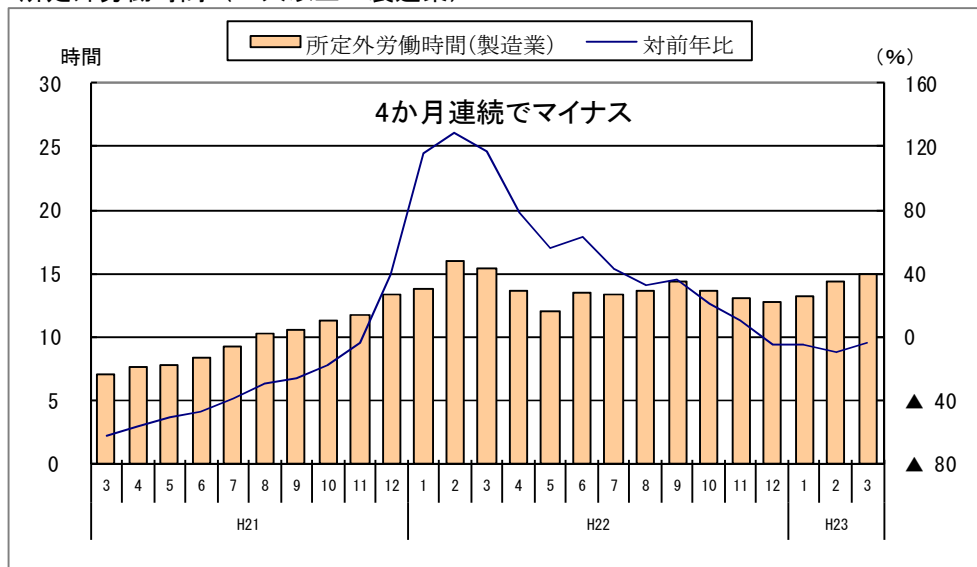
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

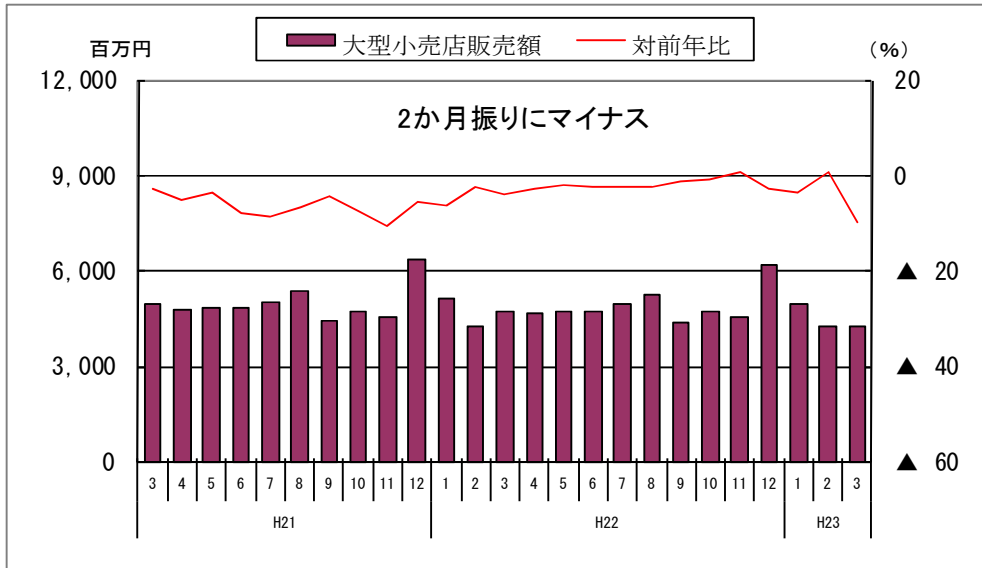
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

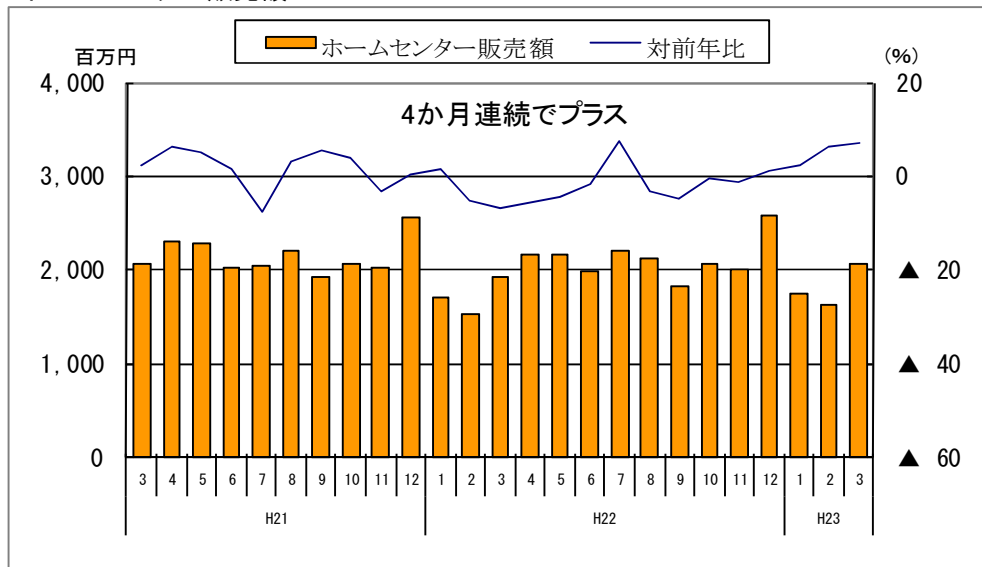
【 個人消費 】 ～弱い動き～

大型小売店販売額



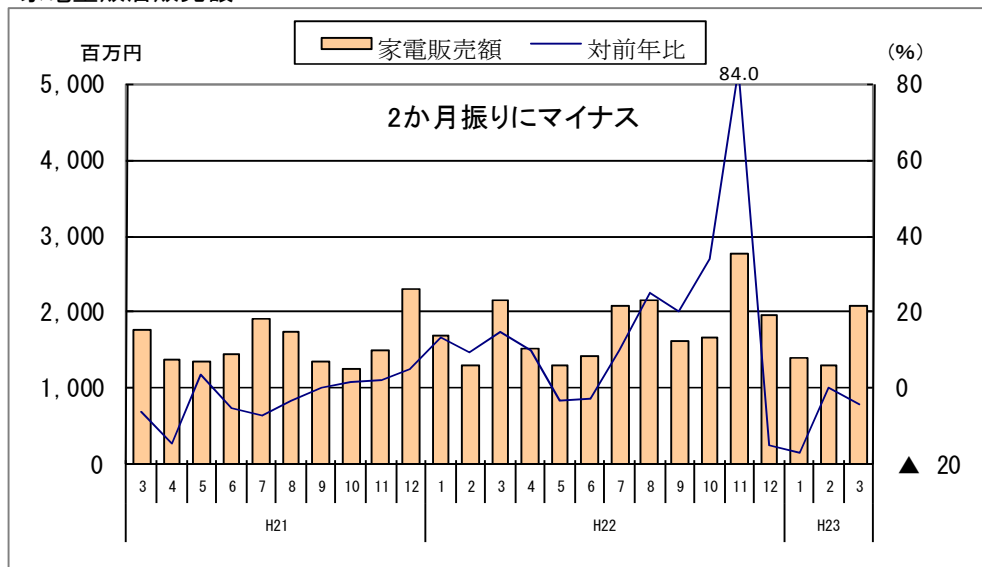
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

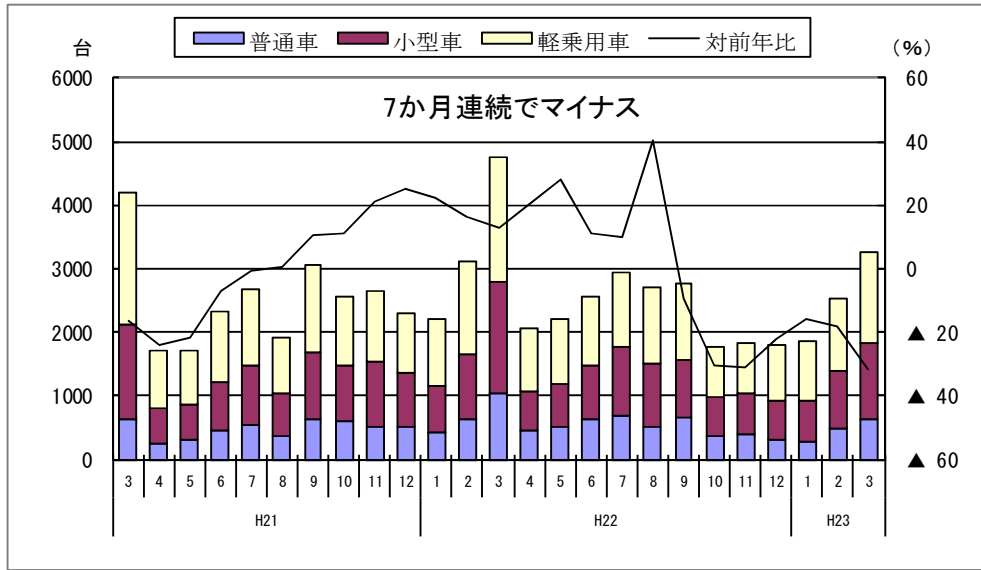
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

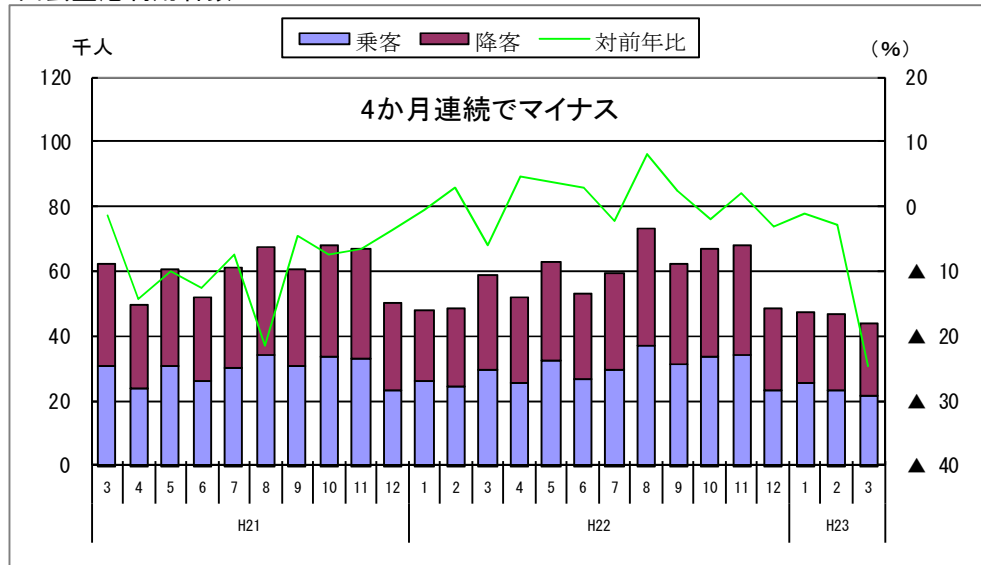
【 個人消費 】 ～弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

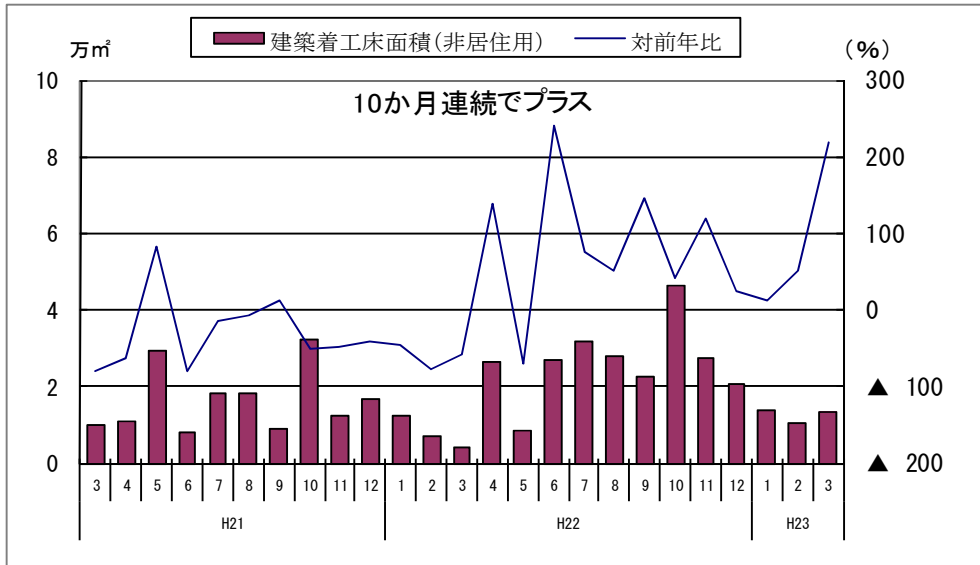
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

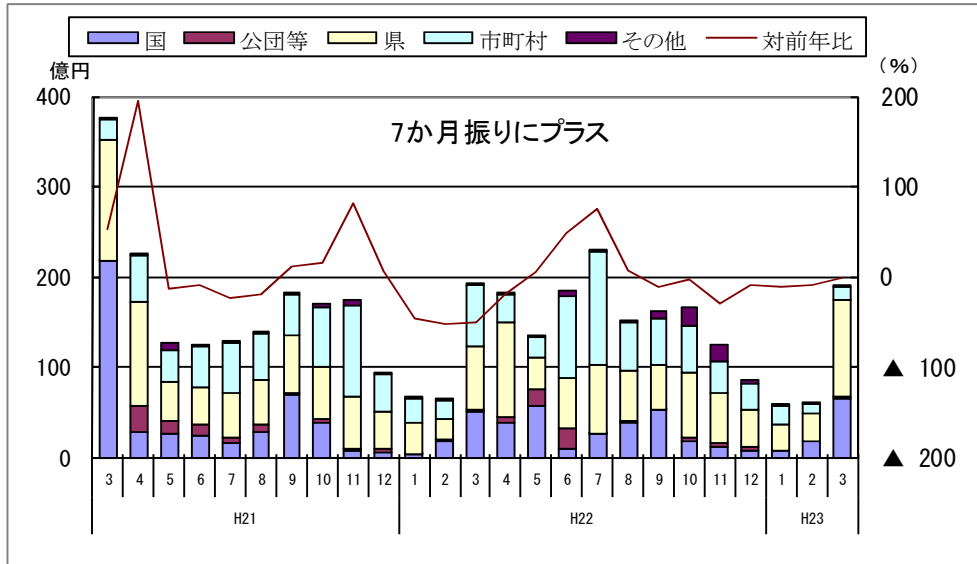
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



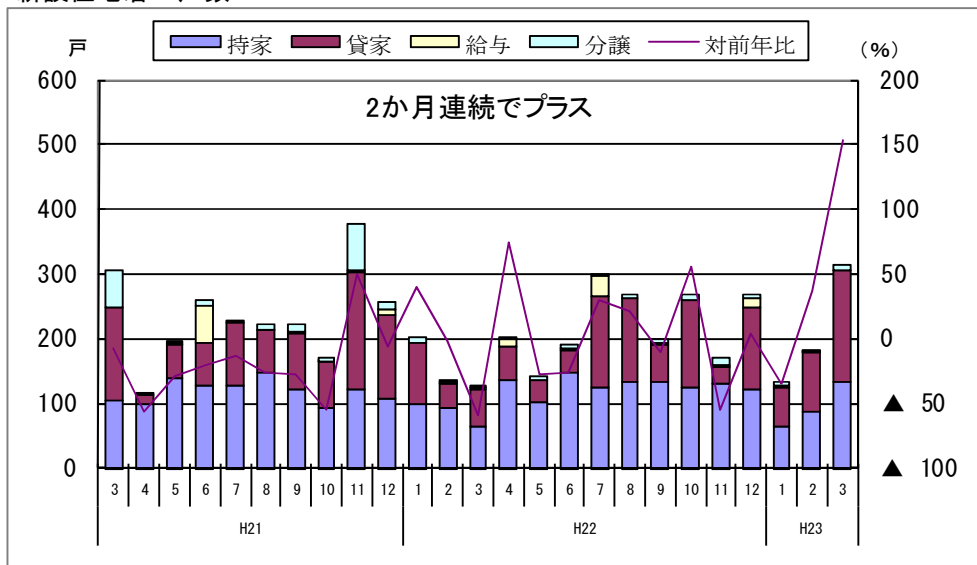
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

新設住宅着工戸数

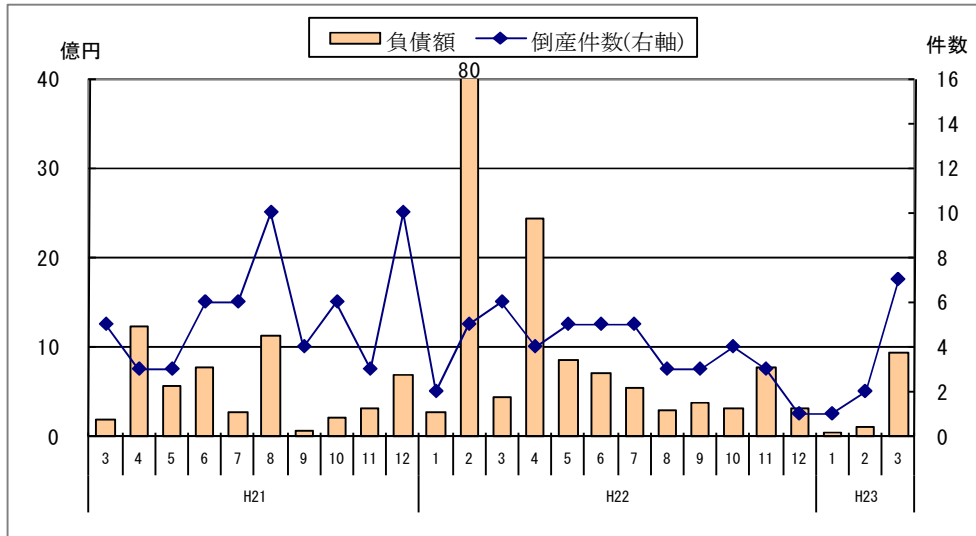


(国土交通省)



【 企業倒産 】 ～倒産件数7件～

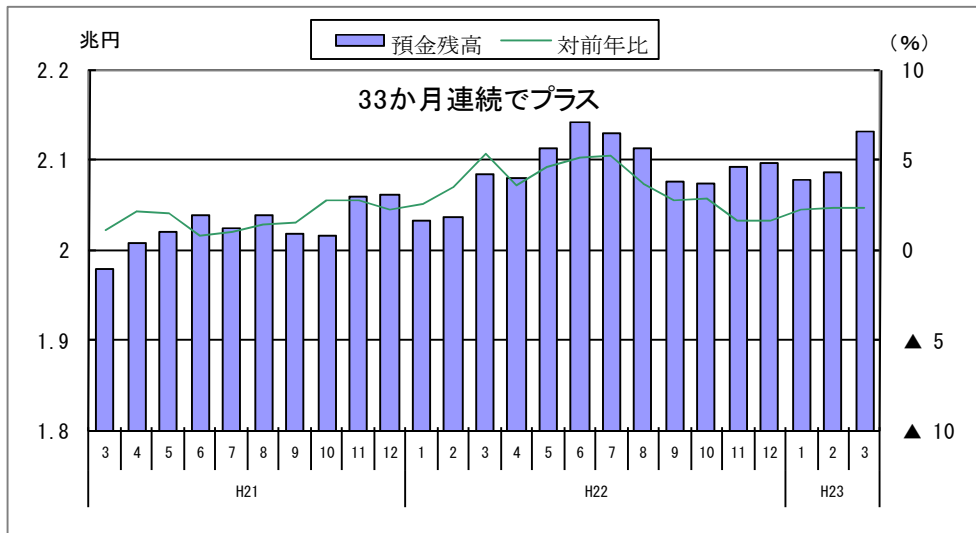
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

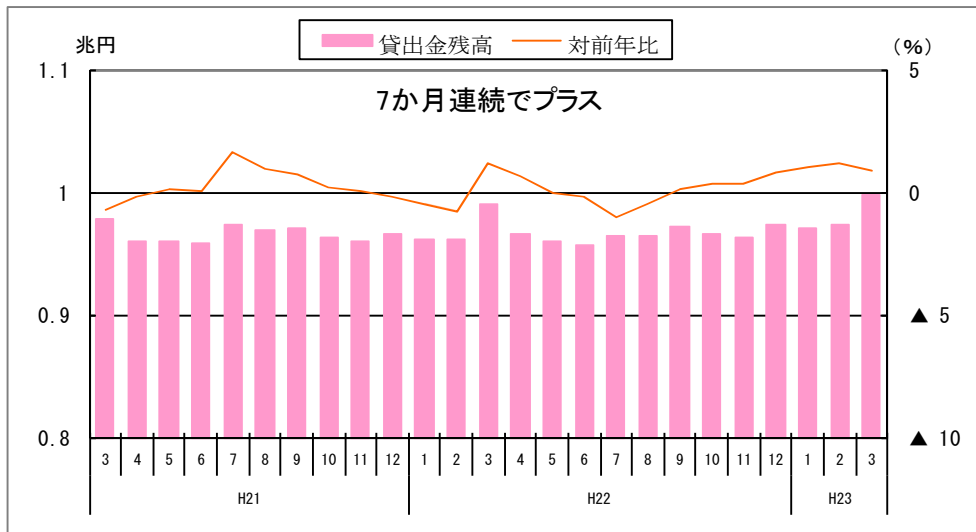
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.9%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

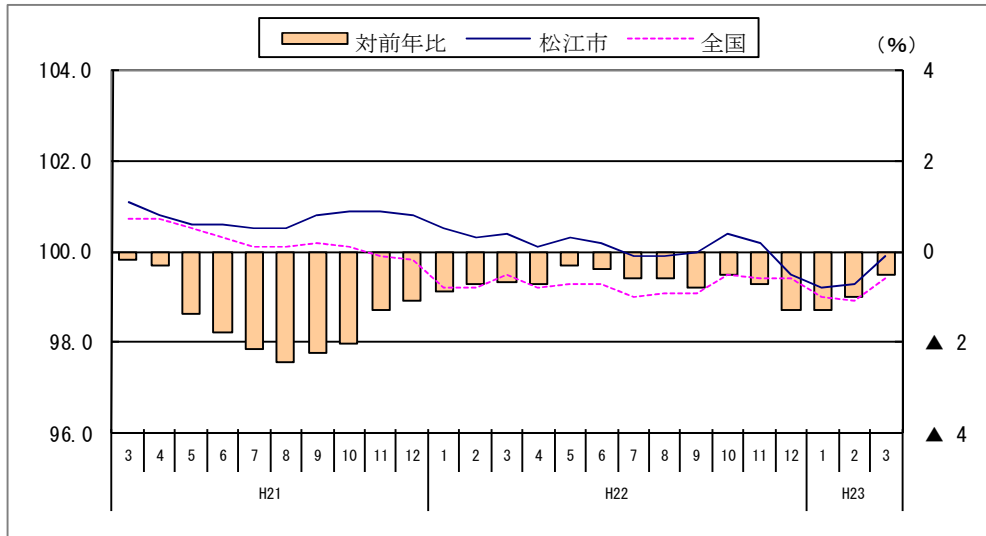
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.5%下落～

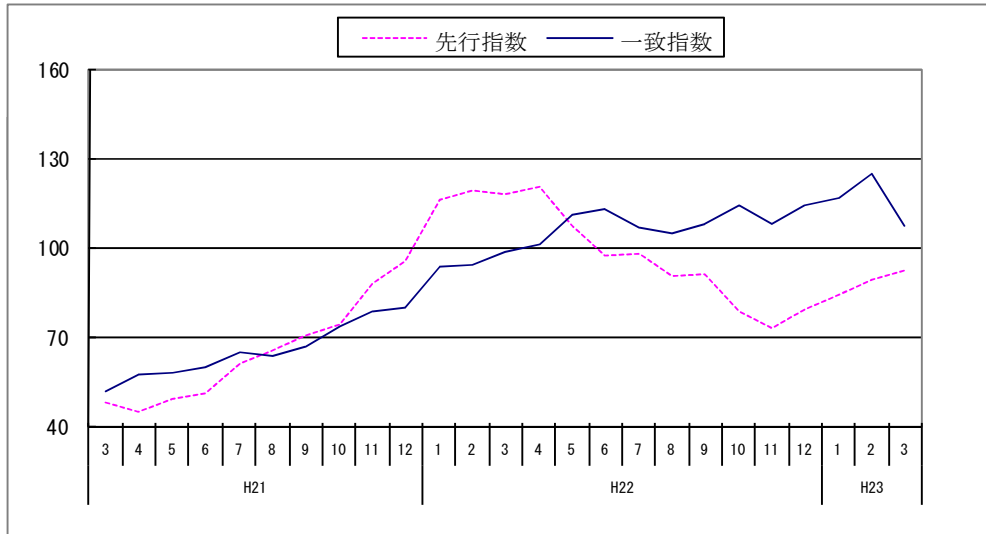
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成23年3月16日 財務省松江財務事務所)  
平成23年 1～3 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	22年10～12月 前回調査	23年1～3月 今回調査	23年4～6月 見 通 し	23年7～9月 見 通 し
全 産 業	5.7	( ▲21.0) ▲ 18.1	( ▲9.5) 1.9	1.9
製 造 業	17.6	( ▲11.8) ▲ 5.9	( 2.9) 11.8	5.9
非製造業	0.0	( ▲25.4) ▲ 23.9	( ▲15.5) ▲ 2.8	0.0
大 企 業	▲ 50.0	( ▲25.0) ▲ 50.0	( ▲12.5) 12.5	0.0
中堅企業	5.4	( ▲29.7) ▲ 35.1	( ▲2.7) 5.4	2.7
中小企業	13.3	( ▲15.0) ▲ 3.3	( ▲13.3) ▲ 1.7	1.7

※ ( ) 書きは、前回 (22年10～12月期) 調査時の見通し。